



こんにちは！

生活支援コーディネーターです。

お元気でお過ごしですか？今までに経験したことのない「自粛生活」を経験し、待ちに待った緊急事態宣言が解除となりましたが、今まで通りの生活に戻ったわけではありません。引き続き3密を避け、マスクを着用し、手洗いの励行を続け、新たな生活様式を模索していくことが私たちの日常に加わりました。

今回は「新たな繋がり方」や「新たな支えあいの形」そして「模索しながらも始まった地域の動き」をご紹介します。

発行

〒284-0003

四街道市鹿渡無番地

総合福祉センター分館

四街道市地域包括支援センター

生活支援コーディネーター

田中・小林

電話：043-420-6070

FAX：043-424-6707

mail:shien-center@

yotsukaido-shakyo.or.jp

発行：2020/8月



## 誰かに届け私の気持ち！

四街道市社会福祉協議会のボランティアセンターで手作りマスクを呼び掛けたところ、1200枚以上のマスクが集まりました。外出自粛の中「困っている誰かの為に」と思いを巡らし作られたマスク！会ったことはないけれど、誰かが作った心のこもったマスクを誰かが使う。

～ これも一つの支えあいの形です ～



# よつかいどう 支えあい通信

## 第7号 ～ 新たな繋がりと支えあい ～

【マスクづくりが誰かの為になるのなら・・・】



大日にお住いの小澤さんは十数年前に腎臓の病気を患い、市内に住む姉宅に近いマンションに越してきました。趣味で始めたパッチワークの腕前は教えられるほど！現在は介護保険でホームヘルパー

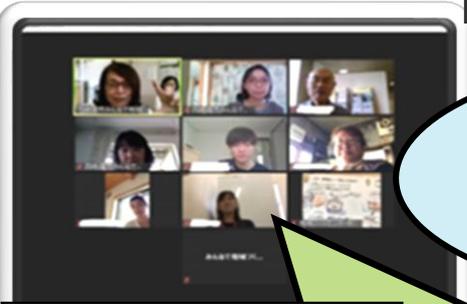
さんや訪問リハビリを受け一人暮らしを続けています。「四街道市に越して来てから沢山の方にお世話になるばかり。何か自分の出来ることでお役に立てたらと思っていました。そんな時ケアマネジャーさんから手づくりマスクを募集していることを聞いて“私にもできそう”とマスクをつくりボランティアセンターに寄付しました。



素敵なパッチワーク

居間の創作スペース

## 【こんな声が届いています】



写真提供：四街道市みんな地域づくりセンター

会いたいけど会えない・・・私もオンラインで繋がることをしてみたい。



四街道市みんな地域づくりセンター主催のオンライン会議「今を語り明日を語ろう～地域のために思いをつなごう～」に参加したよ。いろいろな人の話が聞けてとっても楽しかった。



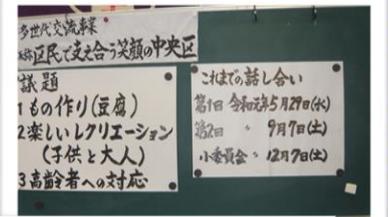
自粛して繋がり大切さを感じたよ。みんなしゃべりたい、困っていることあると思うよ！

今だから困りごとを聞いて、その解決策をみんなで考えようよ！！

## 新しい生活様式を模索しながら始まった地域の動き

### 区民で支え合う笑顔の中央区（桜ヶ丘中央区）

3月に予定していた集いがコロナウイルスの影響で延期され、7月4日に開催されました。3密に気を付け受付時の体温チェック、アルコール消毒等きめ細やかな配慮の中で行われました。27名の参加があり2部屋に分かれ、今後コロナウイルスが落ち着いた後の住民同士が顔見知りになるための行事とその段取りが話し合われ、発起人代表の小方さんから、「次はこの地域で出来そうな支えあいについて話し合しましょう。」と次回開催の呼びかけがありました。



### 西B地区居場所づくり

話し合いのきっかけは若年性認知症の方の居場所を担当の専門職の皆さんが探していたことから。この地域に皆の居心地の良い居場所があったらいいなと考える地域の皆さんと施設や訪問看護師さん等が集い、7月3日に2度目の話し合いを行いました。それぞれの立場でコロナ禍の状況を話し、地域の情報を共有し、居場所への思いを付箋に書きました。次回は地域の居場所が欲しいと思っている方々の思いを伺うためにはどんな方法が良いか話しあう予定です。

